

第3次函館市一般廃棄物処理基本計画の概要

[根拠法令]
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 第6条 市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければならない。
 2～4 (略)

基本計画の目的等

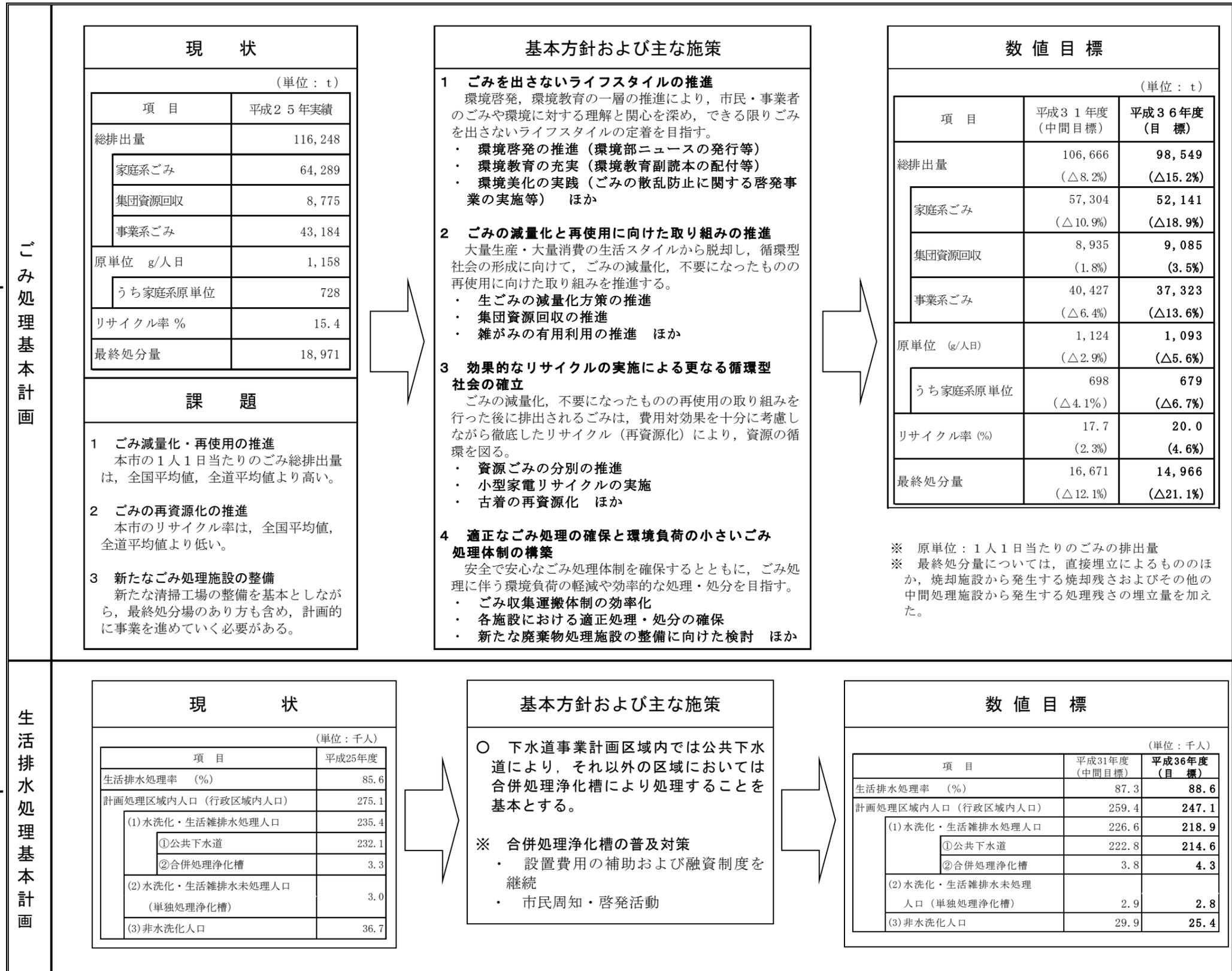
1 策定の目的
 廃棄物の処理に関しては、大量生産、大量消費および大量廃棄型の従来の社会のあり方や国民のライフスタイルを見直す必要があり、本市においても、前計画において、ごみの減量、リサイクルおよび適正処理の推進に努めてきたが、今後引き続き、実態に即し、一般廃棄物の排出抑制や減量化・再資源化および適正処理を計画的に推進していくために、方針および方向性を明確にする。

2 計画期間
 平成27年度～平成36年度

3 計画処理区域
 本市の全行政区域 (677.95 km²)

4 目標年次(平成36年度)の推計人口
 247,051人

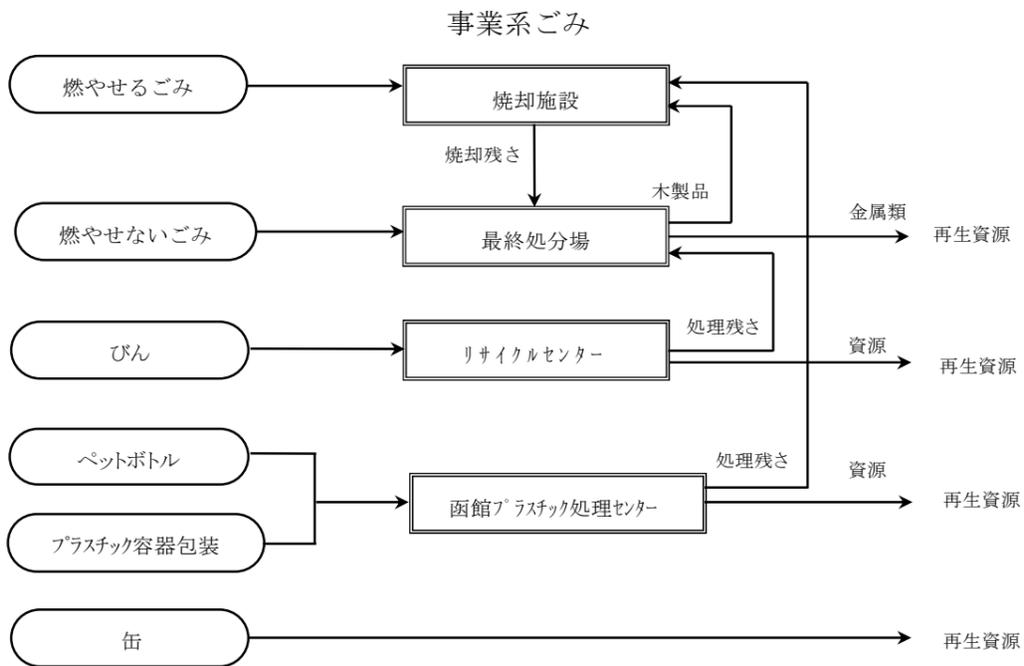
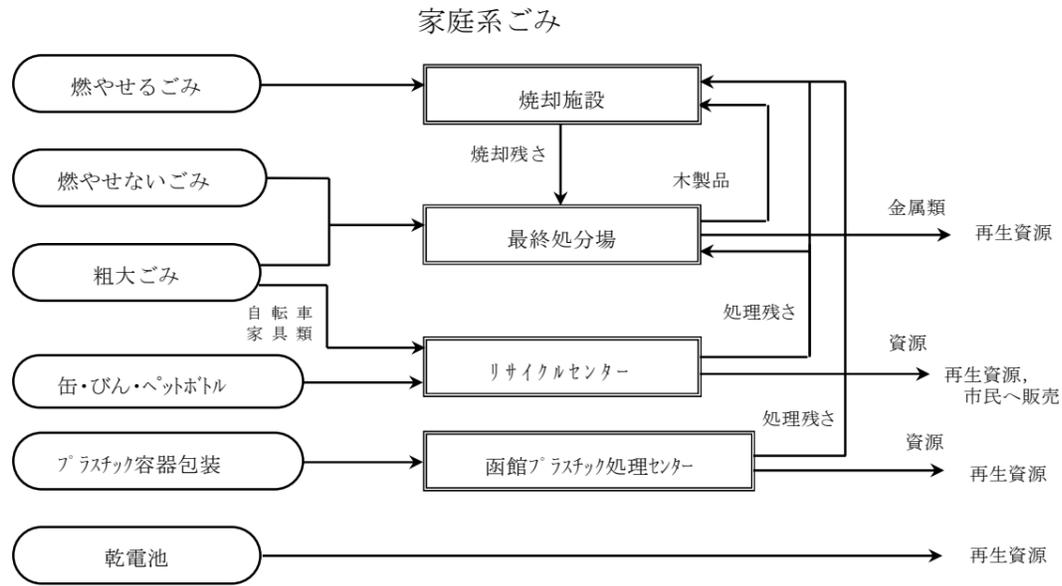
5 現計画(第2次計画)からの主な変更点
 (1) ごみ処理基本計画
 ア ごみ排出量の推計手法
 イ 基本方針の設定数
 7項目から4項目へ
 ウ ごみの組成分析結果の記載
 エ ごみ処理に伴う温室効果ガス、エネルギー回収量の実績の整理等
 (2) 生活排水処理基本計画
 ア 合併処理浄化槽の新設数
 105基/年から50基/年へ



※ 原単位：1人1日当たりのごみの排出量
 ※ 最終処分量については、直接埋立によるものほか、焼却施設から発生する焼却残さおよびその他の中間処理施設から発生する処理残さの埋立量を加えた。

函館市のごみ処理の現状について

1 ごみ処理の体系

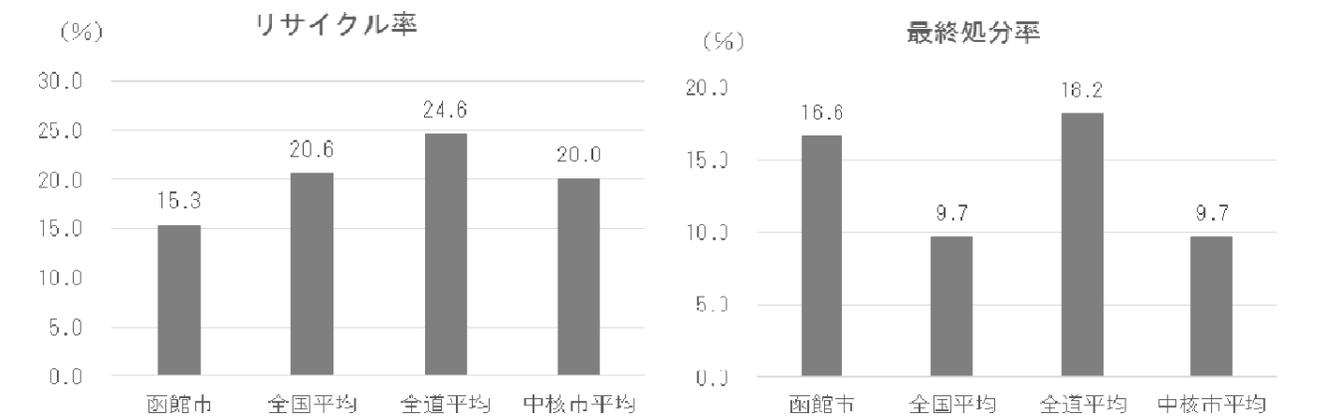
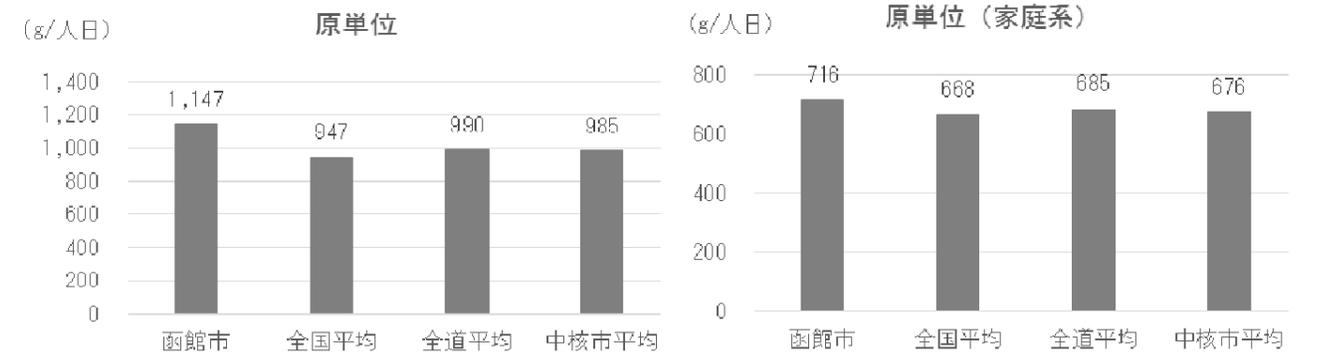


2 ごみ排出量の実績

(単位: t)

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
人口 (9月末現在) (人)	285,365	282,892	280,311	277,725	275,139	272,146	269,079	
家庭系ごみ	燃やせるごみ	50,410	50,582	50,130	50,244	49,980	48,797	47,851
	燃やせないごみ	4,803	5,161	5,117	5,306	5,561	5,371	5,443
	缶・びん・ペットボトル	5,055	5,106	4,956	4,912	4,920	4,787	4,683
	プラスチック容器包装	3,147	3,181	3,079	2,982	2,975	2,871	2,829
	粗大ごみ	657	728	773	699	781	717	691
	雑ごみ	144	170	90	43	72	36	85
	小計 (a)	64,216	64,928	64,145	64,186	64,289	62,579	61,582
事業系ごみ	燃やせるごみ	39,664	40,268	39,938	39,046	39,390	38,679	39,221
	燃やせないごみ	1,868	7,418	1,681	2,061	1,983	2,383	2,746
	缶・びん・ペットボトル	1,384	1,398	1,324	1,407	1,419	1,377	1,274
	プラスチック容器包装	34	29	23	21	20	15	16
	し尿しき, 下水道しき	302	287	313	325	372	374	384
計	43,252	49,400	43,279	42,860	43,184	42,828	43,641	
ごみ総排出量	116,743	123,440	116,276	115,950	116,248	113,979	113,712	
原単位合計 (g/人日)	1,121	1,195	1,133	1,144	1,158	1,147	1,155	
(家庭系原単位) (g/人日)	(706)	(717)	(712)	(721)	(728)	(716)	(712)	
事業系1日当たり排出量 (t/日)	118	135	118	117	118	117	119	
リサイクル率 (%)	16.1	15.1	15.3	15.5	15.4	15.3	15.1	
最終処分量	18,323	24,400	18,396	18,645	18,971	18,921	19,669	

※ H22事業系燃やせないごみは、臨時的増加分4,937 tを含む。
 ※ リサイクル率 = (資源化量 + 集団資源回収量) / 総排出量 × 100
 ※ 最終処分量 = 直接埋立量 + 焼却残さ量 + 処理残さの埋立量
 ※ 原単位 = 1人1日当たりのごみ総排出量



(環境省一般廃棄物処理実態調査 (平成26年度実績))